

# 牧草と園藝

第十二卷・第七号

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可  
昭和二十九年七月一日(毎月一回)日発行



雪印種苗株式会社  
園藝部  
大塚研究所

雪印種苗株式会社

7

ライグラス特集



# 欧州園芸行脚 (5)

美しさに  
打たれる 模様花壇の美

沢田英吉 北海道大学農学部 園芸第一教室 教授



(1) オランダ ロッテルダム市公園の花壇

洋式造園の普及によって、最近では、日本至るところ、美しい花壇を觀賞することが出来るようになった。

そもそも、花壇の趣味は海外から渡来したものに相違ないのであるから、花壇の造成形式等は日本も外国も同じ事だと思込んでいた。ところが、外国に行ってみると、生まれて初めてみる(少なくとも筆者には)形式の花壇にぶつかり、意外の感に打たれるのである。

これはアメリカに行ったときもそうであったが、欧州に於ても同様体験したところである。それは、どんな形式の花壇かというと、一種の模様花壇であって、要するに、植物の植込みを以て、大地に優美な幾何学的模様を描き出すものである。写真1-2はオランダのロッテルダム市の公園内のものであり、3はベルギー、ブラッセル市植物園内のものである。この外これに類する花壇はパリ市のルーブル美術館の前庭や、ベルサイユ宮殿前の広場にも見られる。



(2) ロッテルダム市の花壇 緑の灌木はヒメツゲ

現に外国では堂々と実現していることを、日本にだってやってやれない筈がないと思う。いや、それどころか、むしろこうした繊細な技術こそは、我々日本人のとくいとすることなのである。では何故日本にないのであろう。自分として、色々考えてみたが遂にこれという決め手になるような理由は見出されないのである。結局、今迄は誰も造ってみようとした人がなかったからということによるようである。

札幌市大通りの花壇は全国的に有名であり、私共市民もそれを一つの誇りとしているのである。というのは、美しいという事も勿論その理由の一つではあるが、それにも増して愉快地感ずる事は、花壇が市民のいこいの場として親しまれ、花壇を荒す徒輩の存在しない事が如実に立証されてるからなのである。だからこそ、文化都市札幌市の面目が立っているのである。

花壇で有名なこの札幌市に、錦上更に花を添える意味に於て、大札幌市を表徴するにふさわしい雄大な模様花壇の新設を心から念願してやまないものである。



(3) ベルギー ブラッセル市植物園花壇